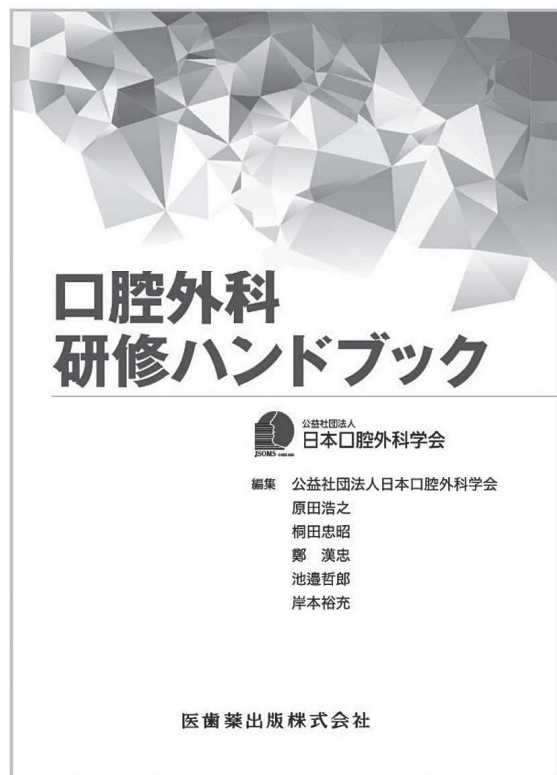


「口腔外科研修ハンドブック」発刊のお知らせ

学術委員会 委員長 原 田 浩 之



このたび、当学会編集の『口腔外科研修ハンドブック』を医歯薬出版（株）より発刊いたしました。口腔外科は診療範囲が広く、発育異常、外傷、炎症、嚢胞、腫瘍、唾液腺疾患、顎関節疾患等の外科処置に加え、口腔粘膜疾患、神経性疾患等の内科的知識も含めた幅広い知識、技術ならびに経験が必要です。また、高齢化社会により、合併症をもった患者さんは増加の一途をたどり、全身疾患・管理の対応は以前に比べより幅広く深い知識が不可欠となりました。若手口腔外科医は、これらの知識を習得し、多くの臨床経験も積んでいかねばなりません。口腔外科臨床に特化した成書は少ないまま現在に至っております。我々が若い頃は、上級医が多くの時間をかけて懇切丁寧に指導いただきましたが、働き方改革等により上級医の指導時間にも制限が生じ、より効率的に学習できる成書が必要です。

本書の企画にあたり学術委員会では、日常臨床に役立ち、特に成書に記載されていない実践に即役立つ情報を多く記載することにしました。そこで各学術委員に若手口腔外科医を推薦いただき、「口腔外科研修ハンドブック・若手ワーキンググループ」を結成しました。ワーキンググループ 10 名の先生方には、企画、目次構成のため多大な時間をかけてディスカッションいただきました。症例提示において、実際に行った「若手口腔外科医の対応」と「指導医からのアドバイス」を記載したのは斬新なアイデアと思います。また、若手口腔外科医委員会にも執筆協力いただきました。本書の趣旨は、実臨床を念頭においたものであり、そのため記述はできるだけ簡潔に「臨床に役立つように」を心がけました。本書は、口腔外科に入局した研修医が学ぶべき診察・処置の基本からカルテ記載法、手術手技、救急対応法等、卒後 10 年目まで役立つ内容からなっています。

本書の発刊に快くご理解くださり、短期間での執筆にご協力いただいた多くの先生方に、心から御礼申し上げます。また、執筆依頼から発刊まで 1 年間と迅速に対応いただいた出版社の方々にも深謝申し上げます。

若手口腔外科医が、診察、診断、治療方針の決定から手術、術後管理に至るまで、自信をもって診療に向き合えるべく、本書を活用していただきたいと存じます。

口腔外科研修ハンドブック（公社）日本口腔外科学会 編 定価 7,700 円（税込み）

医歯薬出版（株）のホームページ（下記 URL 参照）で、内容見本（目次を含む）を閲覧することが可能です。

<https://www.ishiyaku.co.jp/search/details.aspx?bookcode=458910>

医歯薬出版（株）のホームページから、もしくは書店にご注文ください。